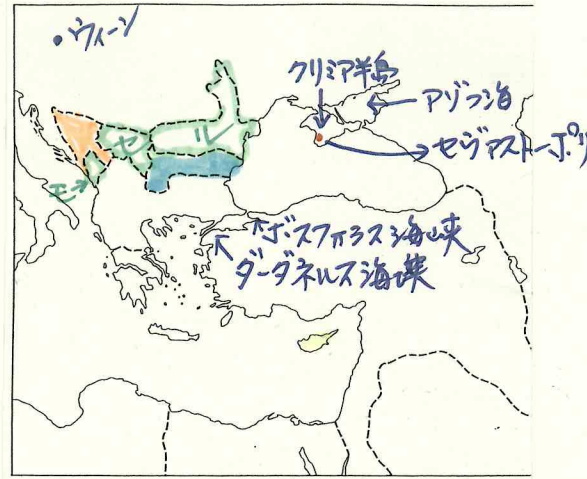


東方問題

(オスマン帝国)の衰退→被支配民族の独立運動
 ヨーロッパ列強の進出が絡み合う
 露:(南下)策…地中海・バルカンへの進出
 奥:(東進)策…バルカンへの進出
 英:(インド)への通行路確保
 仏:エジプトへの進出と、英との競争
 独:仲介者の立場…(バルミン)会議の主催

各国のねらいを理解
 特に(露)は不凍港獲得



① (ギリシア独立) 戦争 (1821 ~ 29)

トルコ …エジプト 総督 (ムハンマド=アリー)

VS

ギリシア …英・仏・露 文化人 (バイロン・ドラクロー)

結果:(アドリア=ブル) 条約 (1829) および (ロンドン) 会議 (30)

・ギリシアの独立承認

露の南下は O

② 第1次 (エジプト=トルコ) 戦争 (1831 ~ 33)

トルコ …露

VS

エジプト …英・仏・奥 (シリア) を要求

結果:(ウニョナル=スケレシ) 条約 (33)

・シリアはエジプト領

露の南下は O

③ 第2次 (エジプト=トルコ) 戦争 (1839 ~ 40)

トルコ …英・露・奥・普 英外相 (パーマストン) の活躍

VS

エジプト …仏

結果:(ロンドン) 会議→ロンドン条約および五国海峡条約

・両海峡中立化 エジプトのシリア領有破棄 露の南下は X

④ (クリミア) 戦争 (1853 ~ 56)

聖地管理権問題…(スライマン1世) が仏に付与 (1535)

仏革命・ナポレオン戦争時代に仏と土対立→露が獲得 (1808)

(ナポレオン3世) が国内カトリック教徒の歓心を買うために要求

トルコ …英・仏・奥・サルデーニヤ (セヴァスト=ポリ) 要塞攻防戦

VS

ロシア (聖地管理権) 問題…トルコ内の(ギリシア正教徒)の保護

結果:(パリ) 条約 (56)

・(黒海) の中立化、ロンドン条約の再確認

露の南下は X



⑤ (ロシア=トルコ) (露土) 戦争 (1877 ~ 78)

トルコ

VS

ロシア

(ボスニア=ヘルツェゴヴィナ) (1875) の反乱を支援 (パン=スラブ) 主義

結果:(サン=ステファノ) 条約 (1878)

・(セルビア=ルマニア=モンテネグロ) の独立

・(ブルガリア) は露の保護国

露の南下は 違いを知る

⑥ 英・奥の反対 → 「誠実な仲介人」 独の(ビスマルク) 登場

結果:(バルミン) 会議 (1878) →ベルリン条約

・サン=ステファノ条約破棄

・セルビア=ルマニア=モンテネグロの独立承認

・ブルガリアの領土縮小→(トルコ) の保護国

・(奥) はボスニア=ヘルツェゴヴィナの行政権獲得

・英は(キプロス) 獲得

露の南下は

影響: 独・奥と露の関係悪化

(パン=ゲルマン) 主義とパン=スラブ主義の対立

バルカンは(ヨーロッパの火薬庫) 後に第1次大戦のきっかけになる



ロシアの改革

① アレクサンドル1世 (1801 ~ 25)

・ウィーン会議で指導的立場…(神聖同盟) の提唱者

・自由主義・国民主義には断固弾圧→(ツァーリズム=農奴制) 維持

② ニコライ1世 (1825 ~ 55)

・(デカбриスト) の乱 (1825) ・ポーランドの反乱 (1830) 鎮圧

・1848年の「諸国民の春」では反革命の擁護者→「ヨーロッパの憲兵」

・知識人(インテリゲンチヤ)の活動始まる…露の近代化を目指す

特にクリミア戦争の敗北後に活発化

③ アレクサンドル2世 (1855 ~ 81)

・上からの改革…(農奴解放令) (1861) …人格的自由 ※経済的自由は不可

↓ 農村共同体(ミール) 設置・地方議会設置

(ポーランド) 反乱鎮圧後に反動化(専制政治強化)

・インテリゲンチヤたちの活動

(ナロドニキ) 運動…「ゾラド(人民の中へ)」

農民を啓蒙し、ミールを基礎に社会主義的改革を実行しようとする ※失敗

この運動に行き詰まりを感じる人たちは(テロリズム) (暴力主義) に走る

アレクサンドル2世を暗殺

④ アレクサンドル3世 (1881 ~ 94)

(露仏同盟) (1891) …仏資本を導入→(シベリア) 鉄道建設など産業革命開始

不十分な内容
→国会は存在
→経済的自由を得られなかったのでも吸収